

萩市中学生保護者アンケート 調査結果

令和6年9月

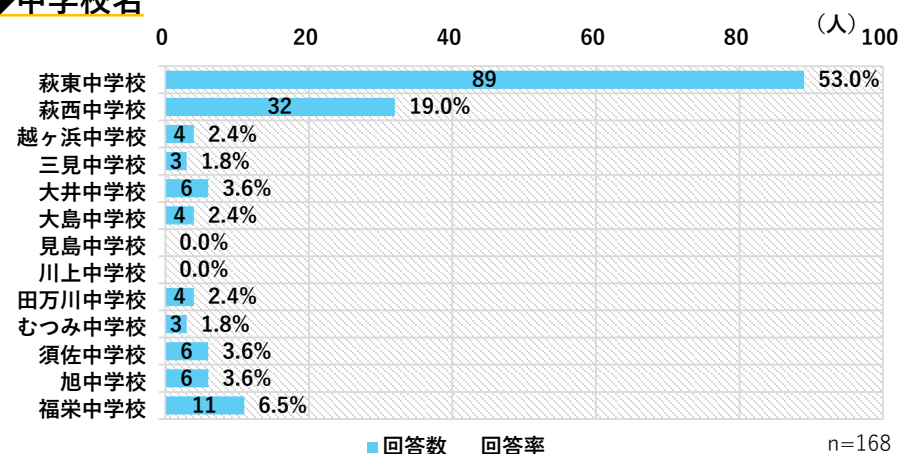
調査の概要

条件	内容
調査期間	2024年7月1日（月）～7月19日（金）
調査対象	<ul style="list-style-type: none"> 下記の学校に通う中学3年生の保護者 萩東中学校／萩西中学校／越ヶ浜中学校／三見中学校／大井中学校／大島中学校／見島中学校／川上中学校／田万川中学校／むつみ中学校／須佐中学校／旭中学校／福栄中学校
調査項目	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の属性（通学している学校／性別） 卒業後について（卒業後の進路／進学予定地／進学先の決定に際し重要視すること） 下宿の予定について（下宿の有無／下宿する理由） 想定する通学手段について（通学手段／自家用車を利用する場合の送迎区間） 公共交通に対する不満点・懸念点 導入・改善してほしいサービス その他ご意見・ご要望
調査方法	<ol style="list-style-type: none"> 学校の保護者一斉メール配信機能「マチコミ」を利用 メールにて依頼文と回答リンク（またはQRコード）を保護者あてに各校から配信し、そこから端末でWebアンケートに回答 教育委員会を經由して各学校へアンケートの協力を依頼するため、事前に市より教育委員会へ共有する
回答者数	168名

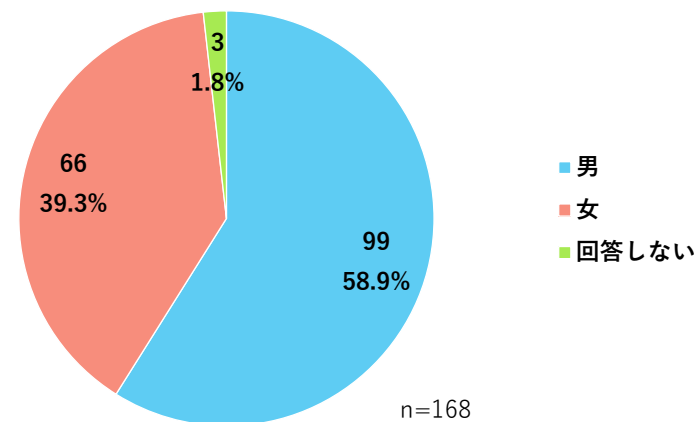
中学校名／性別

- 萩東中学校が過半数を占め、見島中学校と川上中学校からは回答が得られていない（川上中学校は今年度3年生不在）

◆中学校名



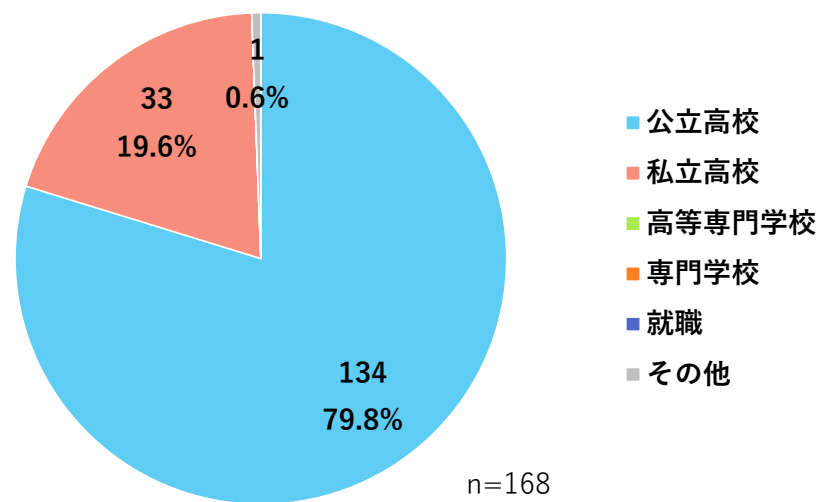
◆性別



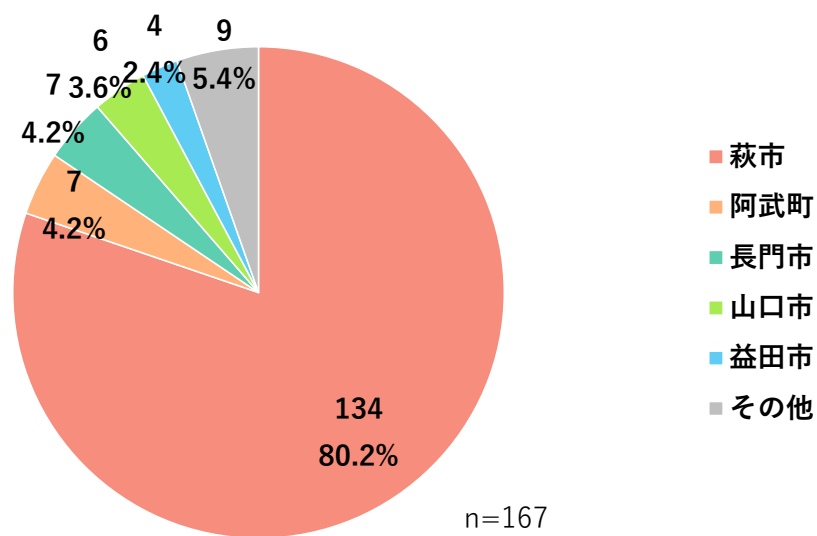
卒業後の進路／進学予定地域

- 卒業後の進路についてはほぼすべての人が高等学校に進学する予定である。
- 進学予定者の約8割は萩市内の学校に通学を予定している。

◆卒業後の進路



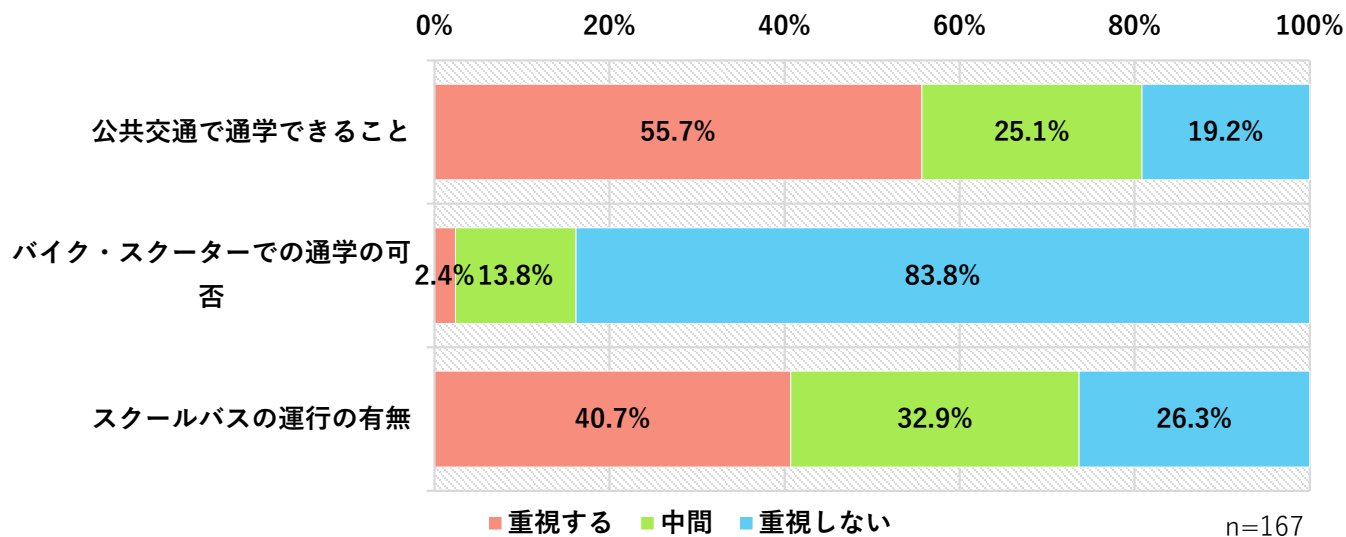
◆高校または専門学校に進学する人の進学予定地域



進学先の決定に際し重視する点

- 公共交通で通学できることについては「重視する」が半数を超えている。
- バイク・スクーターでの通学の可否は8割以上が「重視しない」と回答している。
- スクールバスの運行の有無については、「重視する」は4割程度にとどまるが、「中間」が3割以上であり、比較的重要度が高い項目であるといえる。

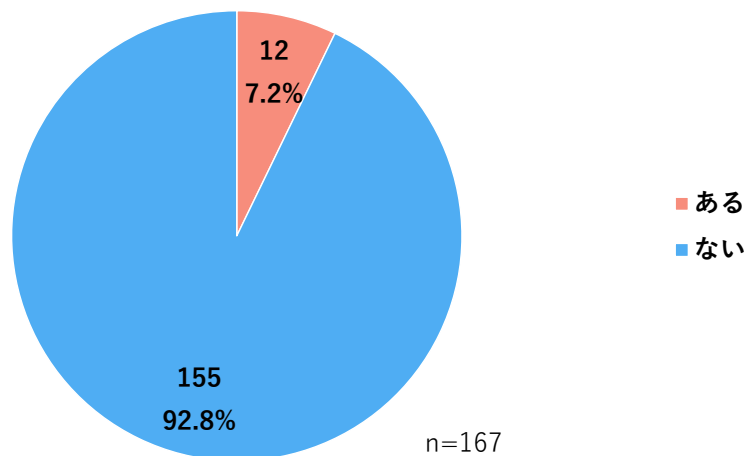
◆重視する点



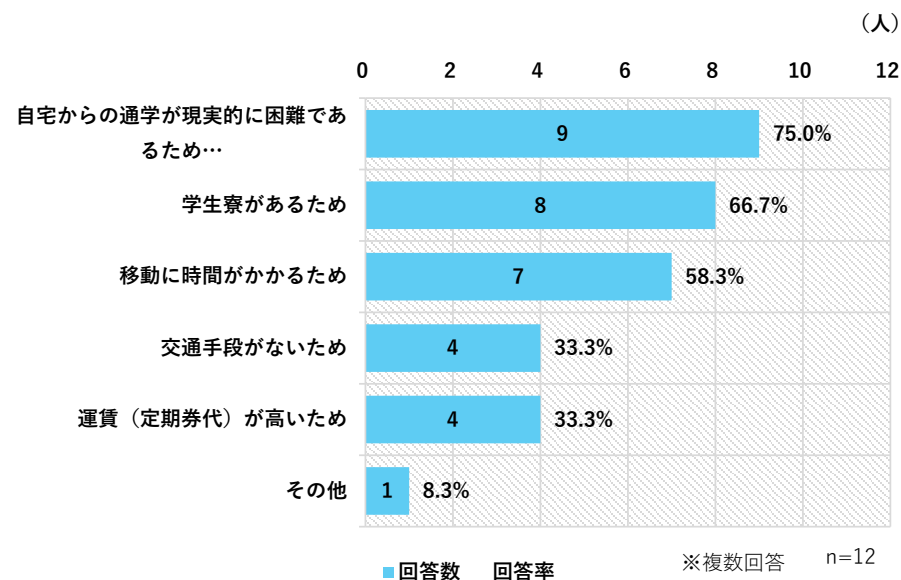
下宿の予定の有無と理由

- 下宿を予定しているのは全体の1割未満であるものの、**12名存在する**。
- 下宿を予定する理由として、そもそも自宅からでは通学が困難なことや学生寮があること、移動に時間がかかることが多く挙げられている。

◆下宿の予定



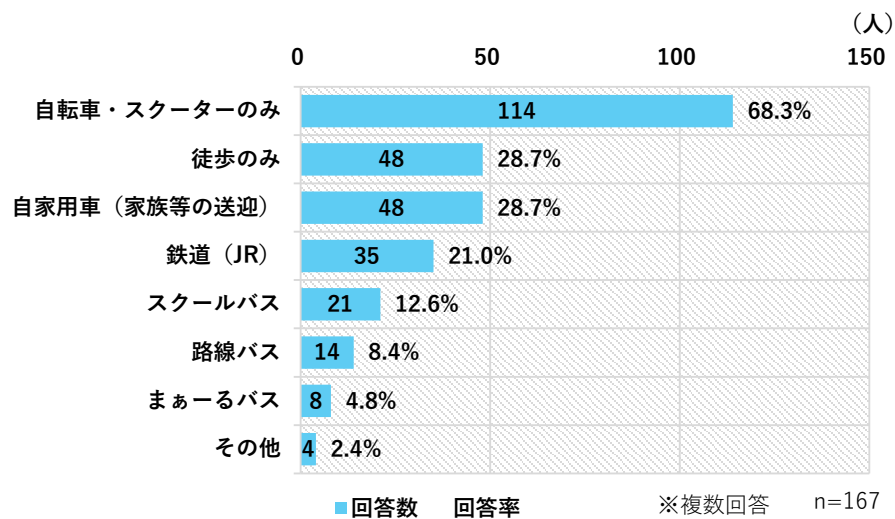
◆下宿予定の理由



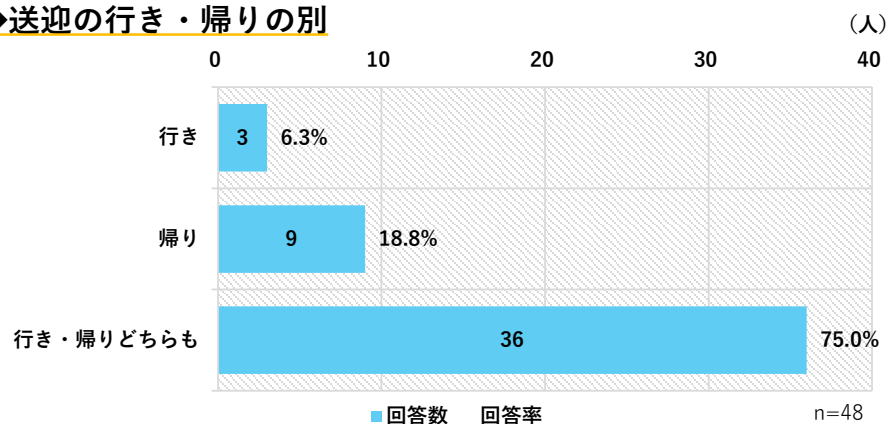
想定する通学手段／送迎について

- 「自転車・スクーターのみ」が最多で68.3%を占める。公共交通機関では、鉄道（21.0%）が最多である。
- 自家用車（家族等の送迎）のうち、行き・帰りどちらも送迎を想定する人が75%を占める。
- 送迎区間は基本的に「自宅から学校（または学校から自宅）」であるが、一部自宅から駅やバス停の区間の送迎を想定している。

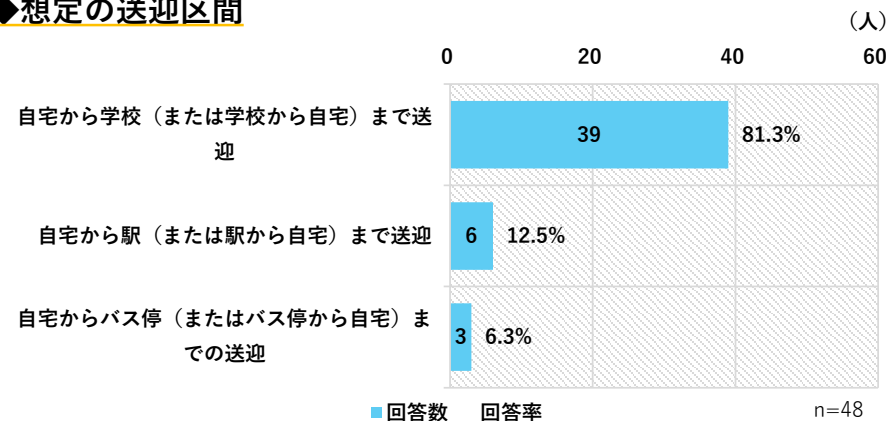
◆想定する通学手段



◆送迎の行き・帰りの別



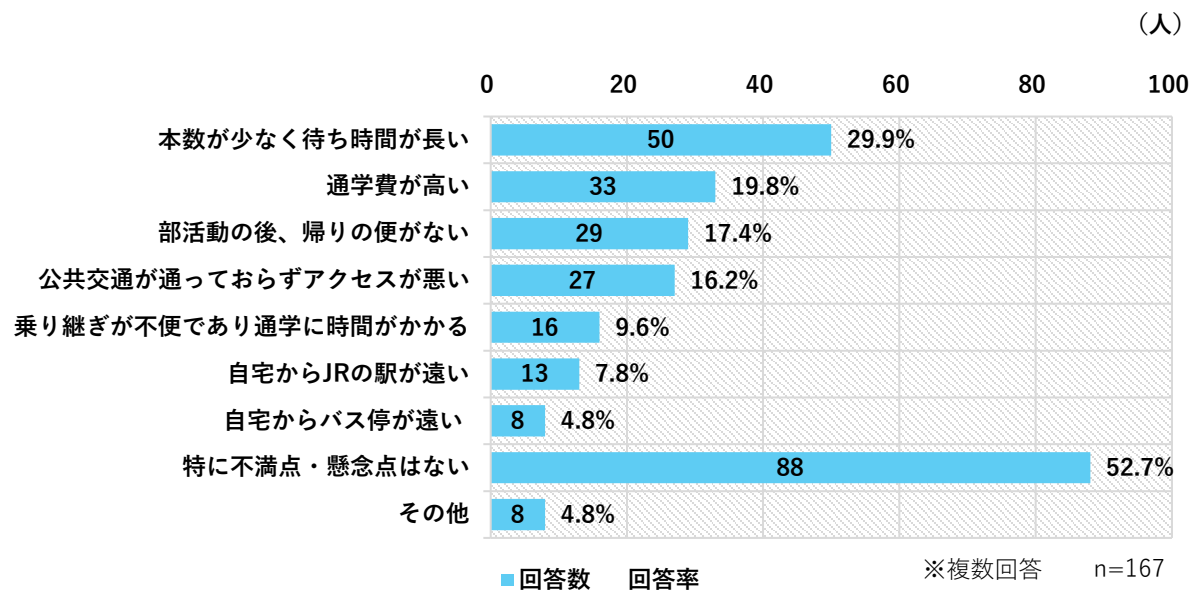
◆想定のお送り区間



交通手段の不満点・懸念点

- 「待ち時間が長い」「部活動の後の帰りの便がない」「乗り継ぎが不便で時間がかかる」など運行本数の少なさや運行時刻について不満・懸念の声がみられる。
- 一方で、不満点・懸念点はないという回答は52.7%存在する。

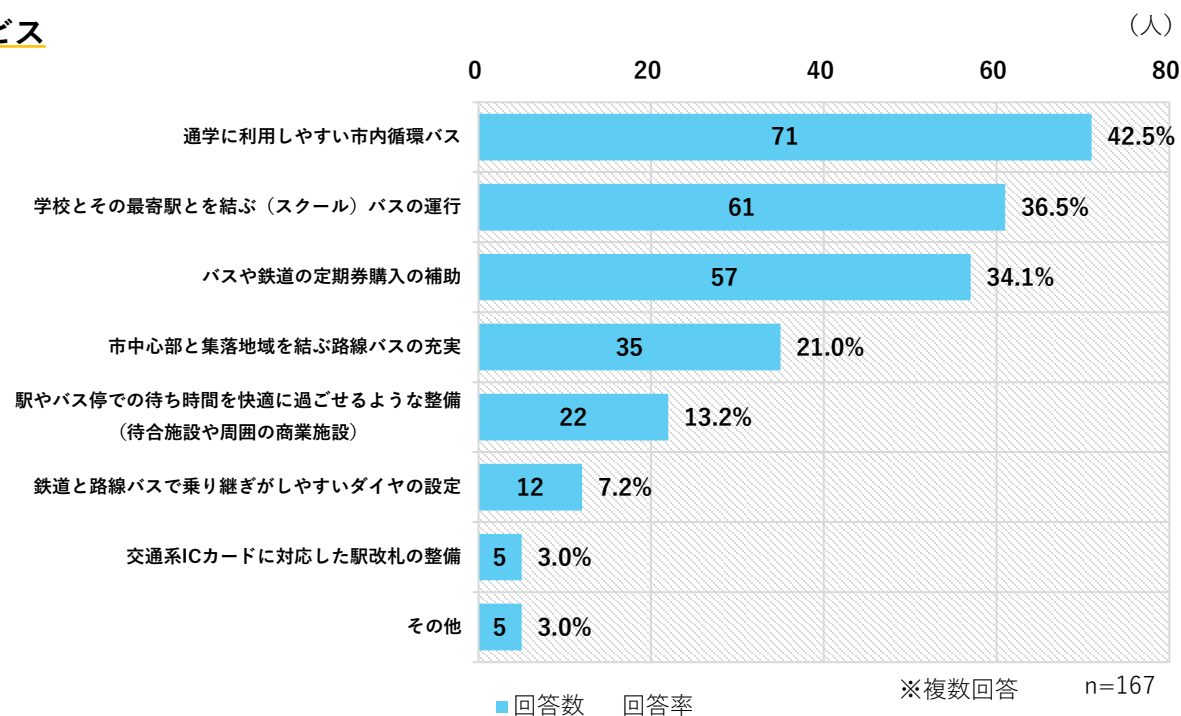
◆交通手段の不満点・懸念点



導入・改善してほしいサービス

- 「通学に利用しやすい市内循環バス」や「学校と最寄り駅を結ぶバスの運行」といった運行の充実度を求める意見が多いが、「バスや鉄道の定期券購入補助」も34.1%回答されており、通学距離の長さによる公共交通にかかる費用の大きさも課題といえる。

◆導入・改善希望サービス



自由意見

回答内容

JRの利便性が私の時代と比べ悪すぎます。また、運休も多いのと代替バスも出ないので、急遽送迎するようになります。萩市内の学校に通わせたいが以上のことから不可能で益田になります。

ウェルネスパークでの試合の時などバスがあればと思います。

バスの経路が悪すぎる

バス代が高く、女子寮を検討中 市内に遊びに行く際には、保護者が送迎が当たり前である。バスの本数も少なく、遅くまで市内に滞在できない。同学年との放課後ライフは、無いに等しい

バス通学をさせたいが、バスの本数もすくない上、学校に通える時間にバスが来ない。また、帰りのバスもないので、改善してほしい。

ファミリーサポートのような制度があればいいと思います。急は送迎のサポートなど

雨が降ると、電車が止まったり、悪天候の時は、送迎が必要になるので公立もスクールバスがあったらいいと思う。

学校が早く終わる時(午前中)や部活動がない時のJRを利用できる時間帯がない

近年JRは運休が多く遠方から通学する者は送迎せざるを得ない。ガソリン代も高騰しているのでせめて定期券購入の補助を拡充してほしい

山陰本線の本数が少なすぎて、子どもだけで汽車を利用した行動がしにくい。

山口高校直通のバスがあれば進路希望の幅が広がって良かった

市外で行きたい学校があったとしても通学手段に限られるので色々考えないといけなくなってしまうので違う高校でも乗れる山口へのスクールバスが一台運行すれば助かります

自転車通学をさせますが、行政が怠慢でろくに草刈りをしないので、いいかげんな町だと思っている

周辺地区では、休みの日に遊ぶにも親の送迎が必須です。高校になれば、交通手段も子供だけでは無理です。これも格差です。高齢者だけでなく、子供の事もちゃんと考えてください。子供も萩市民です。塾も満足に行けません。

住所、家族、収入などで差別化しないで欲しい。恵まれている、いない関係なく等しく支援してほしい。

船の時間の検討

大雨注意報等出ると、交通手段がなくなるので、バス等代替え運転があると助かる。

地域によって、バス会社が一つしかなく、便数も少ないし、定期券にお金がかかる。補助が出たとしても、保護者の負担の方が大きい。市内通学の人と旧郡部との格差が出てくるのは仕方ないかもしれないが、金額面や通学時間を考えると、市内まで送迎する方法になってしまいます。

朝だけでも、道の駅あさひや明木のマルチメディアセンターから市内への直行バス(遠回りしない)があると助かるが、利用人数考えると難しいのでしょうか。市内の高校を本人が希望しているので、親が頑張って送迎するしかないと思っています。

通学路の環境整備をしてください。草、木、竹等が繁茂しています。車道にはみ出している箇所も有ります。

鉄道は天候に左右され、本数も少ないので、不便を感じる。市内循環だけでなく、集落地域にも無料または低額料金のバス運行があると送迎ができない時も子供が利用できそう。

電車が天候などで動かない時が困る。

道の駅あさひに寒さを凌げるバス待合室を設置してほしい

道の駅あさひのバス停付近を冬の間や雨の日に寒さを少しでもしのげるように整備してほしいです。

萩は学校が以前に比べ少なくなったので、市外への通学も考えている。しかし、交通手段が少なく、交通費がかさむ。山口高校など勉強意欲のある学生が交通費などを理由に学ぶことを諦めるケースが多々ある。そのような学生に交通費の補助など考えて頂きたいです。

萩市内の公立か市外の私立になるかわかりませんが、学生は雨でも自転車を使います。まーるバスなどに乗るということがあまり思いつかないのかもしれませんが。

歩道に対する安全性 自転車通学のスマホながら運転の危険性

放課後、迎えを待つ場所を充実してほしい。(中学生)

料金が高い

路線バスを利用させたいと思いますが、本数が少なく、そして料金が高いことが悩みです。定期にしたいと思いますが、行きは萩市内へ出勤する便に乗せていける、帰りはバスで帰ってほしいといった時には、定期がもったいないと思っています。